1　月　の　園　だ　よ　り

《園長の言葉》　　令和４年度　竜光保育園第 691 号

～「よろこび」をいっぱい　袋に貯える年にしよう～　《東井義雄（とういよしお）先生の言葉》

明けましておめでとうございます。本年も宜しくお願い致します。多くの方がおっしゃっているように、コロナ禍での１年は特に早く短く感じます。昨年明けに、当園で初めて新型コロナウイルスの罹患が確認され、春や夏にも感染が広がり、職員一同慌てふためいていたのがつい先日のような気がします。現在は社会がウィズコロナへと舵を切っていますが、第８波の真っ只中にあるのもまた然りです。引き続きご家庭での感染防止にもご協力頂きながら、基本的な感染予防策に努めていきたいと思います。また昨年末には、各地の保育現場で子どもへの虐待やバスの置き去り等の「不適切な保育」が発覚し、幼い子どもたちや保護者の心身が傷つけられました。これは決してあってはならない事ですが、「対岸の火」として捉えるのではなく、当園でも改めて全ての職員の日々の保育や関わり方を省みながら、お子様や保護者の皆様が安心して通えるような保育を実践していかねばと思うばかりです。

さて、新春は様々な場所で「お多福（たふく）」の面（顔）を目にする事が多いと思いますが、昔はこのお多福顔が日本美人の典型とされ、かつ多くの女性が念願した「**五徳（ごとく）**」が備わった顔立ちであったそうです。五徳とは、第１は「目」であって、とらわれのない澄んだ目、慈愛の目、第２は「耳」で、全てのものの声を聞きとることのできる大きな耳、第３は「頬（ほほ）」で、すべてのものを包み込んでくれるふくよかな頬、第４は「口」で、慶びの言葉が自ずからほころび出てくる優しい口、第５は「鼻」で、謙虚な慎み深い鼻だと言います。そう聞いて思わず自身の顔を鏡に映しますと、単なる表面的な相似ではなく、もっと深い部分で比べてみても、私とは似ても似つかない対極にある顔だなあと恥ずかしく思われます。この五徳、実は、何れも仏教の「仏様の顔」に通ずるものだと言います。言うなれば「仏様の御心」が顔のパーツに表れたものだと言えるのではないでしょうか。上記の言葉は、日本の※ペスタロッチと称された東井義雄先生の言葉です。本年も子育てをはじめとして、多かれ少なかれ様々な問題に直面するかもしれませんが、不平・不満や愚痴をため込むのでなく、お多福様（仏様）、そのものの表情にはなれなくとも、日々のなにげない小さなよろこびを少しずつ心と顔に貯えて、子どもたちといっしょに笑顔＆希望がいっぱいのよろこびあふれる１年になるようお互いに努めていきましょう。　　※ペスタロッチ…スイスの教育実践家

１月の行事予定

1 月 4 日（水）　始園　合同礼拝
　11 日（水）　ギラヴァンツ北九州
　　サッカー教室（桜・梅組）
　12 日（木）　ダンス教室（桜・梅組）
　16 日（月）　避難訓練（不審者対策）
　　身体測定（未満児）
　16 日（月）～20 日（金）かるた会週間
　17 日（火）　体操教室　身体測定（以上児）
　27 日（金）　誕生会

今年の干支？

少しの積雪でも子どもたちは大はしゃぎ！

１２月の誕生会

おすすめ絵本のコーナー

『へっこきへのた』　文：苅田 澄子　絵：つちだ のぶこ　出版社：文溪堂

江戸時代の絵巻物からヒント得ての物語だそうですが、きじ，サル，イヌがでるなどまるで「〇太郎」そのものです。ただ、主人公の必殺技がなんと威力最強の“おなら、屁（へ）”という、子どもたちが大喜びしそうなユーモアたっぷりの絵とストーリー展開です。是非大人も子どもも手に取って、新年から大笑いしましょう

『しってるよ』　作：たかだしんいち　出版社：文研出版

「ボク　かあちゃんのこと　なーんでもしってるよ」からはじまるちょっと“ドキッ”とする物語です。かあちゃんブタのことをなんでも知っていると思っていたボクですが…。読み進むにつれ、「これ、我が家にもある、ある…」という場面が少なからず思い浮かんでくるのでは。最後にはなんでもお見通しのかあちゃんの、ほんわかとした優しい気持ちが伝わってきますよ。